

今から 880 年前、法然さまのお父さま 漆間時国公は、源内武者明石定明の夜襲による負傷が元でこの世を去るときに「汝さらに会稽の恥をおもひ敵人をうらむることなかれ云々」と、息子である法然さまに敵を恨み仇を打つことを諫められました。この御遺言が、法然さまが仏の道をすすむきっかけとなり、すべての人を救う専修念仏のみ教えを広めるため浄土宗をお開きになった基となりました。

更に 昭和二十年八月六日 並びに同年八月九日 日本は世界唯一の原子爆弾の被爆国となり 戦争の愚かさ、悲惨さを思い知りました。私たち念佛の道に生きるものは、世界平和の先導者となるべく、お念仏のみ教えの心をもって、仏説無量寿経にある「兵戈無用」の教えをとこしえに尊び、平和の道をお念仏とともに歩むよう励んでおります。

このたび、およそ 2 年間に及ぶ新型コロナウイルス世界的蔓延にあたり、感染者の回復を念じると共に 死去されし方々の菩提を弔い、この疫病が一日も早く終息することを願い、平穏な社会になることを切に祈念いたします。

また、阿弥陀さまのみ光が、敵味方分け隔てなく明るく照らし、ロシア軍によるウクライナ侵攻をはじめ世界各地の紛争に巻き込まれている人々の無事と、それぞれの事態が、

これ以上恨みを募らせ暴力を拡大することなく一時も早く  
平和的に終息することを願います。

令和四年七月三十日

世界同時念佛 参加者 一同 敬って申し上げます。